

経営比較分析表（令和5年度決算）

山形県 尾花沢市

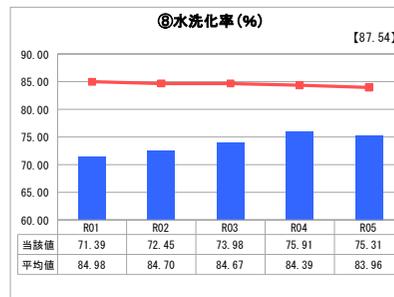
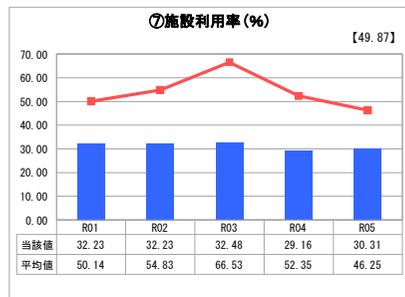
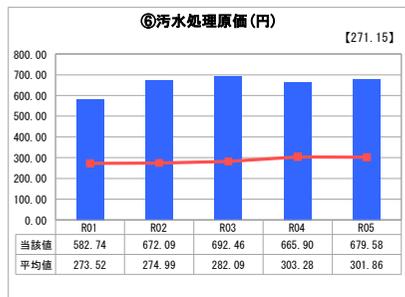
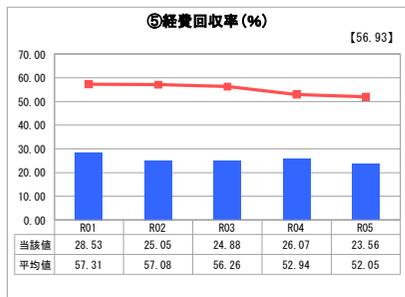
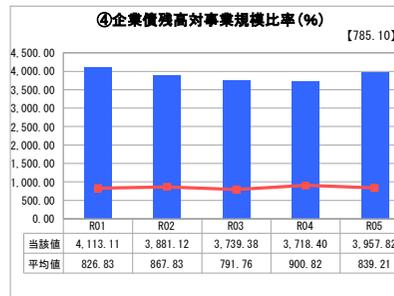
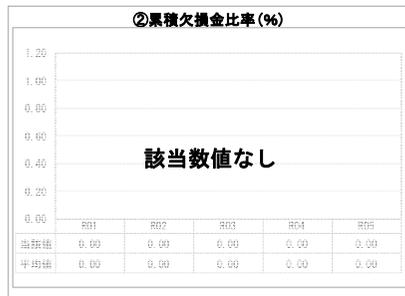
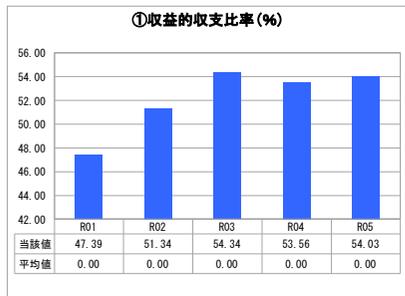
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.28	86.70	3,300

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,996	372.53	37.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,146	1.23	931.71

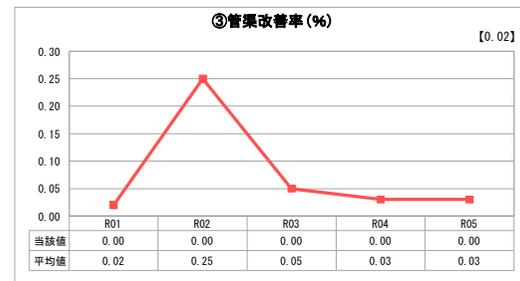
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

牛房野、壽沢、宮沢西部の3処理区。水洗化率は微減している。全処理区とも高齢化、人口減少により経費回収率が減少傾向にある。総じて適切な料金収入に達していない。
また、全処理区とも範囲エリア（面積）が広く、家屋連担していない事から非効率な状況と言える。上記の事から汚水処理原価が高く、企業債残高対事業規模比率も高い傾向にある。
結果として、一般会計からの繰入金で補填する状況が続いており、今後も使用料のみで経営することは極めて困難である。

2. 老朽化の状況について

3処理施設供用開始
・牛房野／平成13年4月
・壽沢／平成16年4月
・宮沢西部／平成20年4月
令和2年度に機能診断、令和3年度に最適整備構想を策定。大きな修繕は見受けられないものの耐用年数を越え始めている機器も増え始めており計画的な更新が求められる。

全体総括

高齢化と急激な人口減少に歯止めが効かず経費回収率が極めて低い。一般会計繰入金への依存傾向は今後も続くことから、最適整備構想等を参考にしながら効率的、計画的な施設の維持管理を行い経営改善に向けた努力を実施していきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。